

宮津の新しい教育の創造Version2.0～学びの時代～ 学びの深化P J

番号	学びの深化P J の目標	児童生徒が発揮して欲しい姿	学校の在り方・取組等
1	①子どもが主体で学ぶ教育環境の確立	安心して自分の考えや思いを発信している	心理的安全性※ ¹ を高めるための取組を教育課程に位置付けているか
2	①子どもが主体で学ぶ教育環境の確立	自分なりにめあてを立て、行動し、振り返っている	子どもがめあてを立て、行動し、振り返る機会があるか
3	①子どもが主体で学ぶ教育環境の確立	課題等を自分で選択して（決めて）活動できる	子どもが課題等を選択する（決める）機会があるか
4	①子どもが主体で学ぶ教育環境の確立	どんな意見も先生は受け止めてくれる	子どもの意見を受け止める風土※ ² があるか
5	①子どもが主体で学ぶ教育環境の確立	先生は自分の力を伸ばそうとしてくれる	子どもの姿から非認知能力等を見取り、伸ばそうとする風土があるか
6	②個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	学習課題や学習方法等自分で決めて取り組んでいる	学習課題や学習方法を子どもが決めて取り組む機会があるか（自己調整）
7	②個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	自分にあった学習方法を選択して学習している	子どもが学習方法を選択する機会があるか（指導の個別化※ ³ ）
8	②個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	自分にあった学習内容を選択して学習している	子どもが学習内容を選択する機会があるか（学習の個性化※ ⁴ ）
9	②個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	自分の考えを生かして、協働的に学習している	個別に考えたことを生かして、協働的に学習する機会があるか
10	②個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	友だちの意見を聞いて、さらに自分の考えを深めている	協働的に学習した後、個別に考える機会があるか
11	③主体的・対話的で深い学びの具現化による学力向上	授業の中でしたいことを自分で決める場面がある	授業の中で、自由進度学習や反転（予習）学習等、自己選択する機会があるか
12	③主体的・対話的で深い学びの具現化による学力向上	友だちと意見を交わしながら学習している	子ども同士で対話しながら課題に取り組む機会があるか
13	③主体的・対話的で深い学びの具現化による学力向上	自分の学習を振り返り、学びが深まったことを実感している	学びを振り返る機会があり、自らの学びが深まったことへの気づきを適切に評価しているか
14	③主体的・対話的で深い学びの具現化による学力向上	学んだことをつなげ、生かして課題解決をしようとしている	学んだことをつなげ、生かして課題解決をする機会があるか
15	③主体的・対話的で深い学びの具現化による学力向上	それぞれの教科等の学習は生活に役立つ	教科ならではの見方・考え方のよさを感じられる機会が意図して計画されているか
16	④教科等の学びを日常生活や地域課題で発揮する学習デザインの創造	自分達が設定した課題に取り組んでいる	子どもたちの問いから学習する機会があるか
17	④教科等の学びを日常生活や地域課題で発揮する学習デザインの創造	日常生活から課題を設定して学習している	日常生活等から課題を設定して学習する機会があるか
18	④教科等の学びを日常生活や地域課題で発揮する学習デザインの創造	地域課題をとりあげて学習している	地域課題をとりあげて学習する機会があるか
19	④教科等の学びを日常生活や地域課題で発揮する学習デザインの創造	自分で課題を設定し、その解決に向けて調べたり、まとめたり、発表したりしている	探究型、PBL型（課題解決型学習）で学習する機会があるか
20	④教科等の学びを日常生活や地域課題で発揮する学習デザインの創造	日頃自分の経験と学習内容をつなげて考えている	子どもが自分事として考えることができる学習デザイン※ ⁵ になっているか
21	⑤主体的に学ぶ教職員集団の構築		個々の教師が校務分掌を基に主体的に提案することができるか
22	⑤主体的に学ぶ教職員集団の構築		個々の教師が自分なりの課題意識をもって日々研鑽を積んでいるか
23	⑤主体的に学ぶ教職員集団の構築		職員室等で子どもや授業等の話を日常的にできる雰囲気があるか
24	⑤主体的に学ぶ教職員集団の構築		子どもの姿から学ぶ機会があるか
25	⑤主体的に学ぶ教職員集団の構築		様々な情報を得る方法を各々が知っているか
26	⑥ICT利活用	必要な場面を自分で考えていつでもタブレット端末を使うことができる	学習中に児童生徒がいつでも自分で考えてタブレット端末を使うことができるか
27	⑥ICT利活用	アナログの良さ、デジタルの良さを知っている	アナログの良さやデジタルの良さを意図的に学ぶ場があるか
28	⑥ICT利活用	いつでもタブレット端末を持ち帰ることができる	いつでもタブレット端末を持ち帰ることができる環境になっているか
29	⑥ICT利活用	各アカウントを自分で管理している	教職員を含め適切にアカウントを管理するよう指導しているか
30	⑥ICT利活用	デジタルツールを日常的に活用している	デジタルドリル等を活用できる場面が日常的にあるか

備考

※¹ 心理的安全性・・・集団の中で自分の考えや気持ちを誰に対しても安心して発言できる状態のこと。

※² 風土・・・学校の文化の形成などに影響をおよぼす精神的な環境。教職員間の雰囲気や意識的に取り組んでいること等。

※³ 指導の個別化・・・子ども一人一人の特性・学習進度・学習到達度等に応じ、教師は必要に応じた重点的な指導や指導方法・教材等の工夫を行う。一定の目標をすべての子どもが達成することを目指し、異なる方法等で学習を進める。

※⁴ 学習の個性化・・・子供一人一人の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、教師は一人一人に応じた学習活動や課題に取り組む機会の提供を行う。異なる目標に向けて、学習を深め、広げる。

※⁵ 学習デザイン・・・学習の目的を達成するために、子どもの文脈（興味・関心・経験等）に即して環境や内容、配列、課題等を設計すること。またそれを具体的な形（単元計画や授業案等）にすること。